

平成28年度
北広島市保健福祉計画検討委員会
第1回 地域福祉部会

日 時：平成29年2月14日（火） 午後6時30分～午後7時25分

場 所：北広島市芸術文化ホール 2階 活動室 2

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：小早川委員（部会長）

川島委員

石丸委員

大谷委員

小池委員

大西委員

前田委員

欠席者：鈴木委員

◇事務局

福島保健福祉部長

及川健康推進課長

林福祉課主査

野切健康推進課主査

影久健康推進課主査

伊藤福祉課主事

上田健康推進課主事

◇傍聴者 0名

《議事概要》

1 開会

2 部会長挨拶

3 協議事項：

(1) 第4期地域福祉計画の進捗状況について

事務局： 第4期地域福祉計画の進捗状況（平成28年度）について説明。

部会長： 事務局からの説明について、質問はないか。

委員： 資料の14ページにあります民生委員児童委員との連携についてですが、地域活動の中で民生委員児童委員との連携は大変重要なものと思います。現在欠員もいるということですので、欠員状態を少しでも減らすよう引き続き取り組みをお願いしたいと思います。資料の17ページにあります避難行動要支援者情報の共有と情報更新についてですが、やはり、災害に備え、最新の情報に更新していく必要があると思いますので、できるだけタイムリーな情報について活用できるようお願いしたいと思います。

資料の中で、社会福祉協議会が随所に出てきますが、今年度からは成年後見センターや地域支えあいセンターの業務を市から受託して実施しているので、引き続き市と社会福祉協議会が連携しながら取り組んでいくことが重要であると思います。

事務局： 民生委員の欠員につきましては、昨年12月に3年に一度の一斉改選がありまして、それに向けて自治会・町内会や関係機関等へ候補者の推薦についてお願いをしてきたところです。一斉改選の時点では17名という欠員数になっておりますが、引き続き自治会・町内会や関係機関等をお願いをしていきまして、少しでも欠員数を減らすように努力をしていきたいと考えております。

避難行動要支援者情報の更新につきましては、名簿を管理更新していくシステムを構築しているところですので、名簿を定期的に更新して災害に備えて活用できるようすすめていきたいと考えております。

社会福祉協議会との連携につきましては、成年後見センターや地域支えあいセンターの事業をはじめ、様々な事業で引き続き連携を図っていきたいと考えております。

委員： 資料の8ページにあります高齢者虐待の件数などが出ていますが、具体的に虐待とはどのような内容ですか。食事を与えないとかも含まれるのですか。

事務局： 含まれます。そのほか虐待には、暴力はもちろん、暴言や経済的な虐待というものも含まれます。

委員： 資料の9ページにあります協力事業者からの通報など、実際にどのようなケースがありましたか。

事務局： 新聞が何日分かたまっていることを発見して、新聞配達員から市へ通報があったというケースがあります。

委員： 避難行動要支援者名簿を自主防災組織や自治会・町内会へ提供していくと思いますが、熊本などの震災が起きた時は、頑張ろうという意識があるのですが、その後、自治会・町内会の役員も変わり、時間が経過するとそういった取り組みが進まないということもあると思います。時々、自治会・町内会に呼び掛けて、取り組みを継続できるよう声かけをしてもらえるとよいと思います。

事務局： 市では防災に関する出前講座や防災研修として避難所運営ゲーム（HUG）などを地域で実施して災害の意識づけということで活動しておりますので、引き続きこういった活動をしていながら、防災担当と福祉担当が連携を図り、災害への意識づけなどに対して努力していきたいと考えております。

(2) 健康づくり計画（第4次）の進捗状況について

事務局：健康づくり計画（第4次）の進捗状況（平成27年度）について説明。

部会長：事務局からの説明について、質問はないか。

（質問なし）

4 その他

特になし

5 閉会